



『ひかり』の声

スクールカウンセラー（SC） 秋山邦久・浅沼知一・伊勢谷凡子・上村佐知子
佐々木百合・佐藤さゆ里・菅原由起子・三浦奉宣・濱田拓（文責）

【桜咲いたら〇年生♪】

本年度の冬は晴天が多く、仙北市を囲む壮大な山並みを、すがすがしい気持ちで見上げることのできる今日この頃です。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。桜の開花にはまだ早ですが、だんだんと新年度の訪れを感じながら学校生活を送っていることでしょうか。また一つ、学年を重ねるのが、嬉しいような淋しいような、そんな季節であるように思います。



☆ひとりみんなのために、みんなはひとりのために（One for all All for one）☆

あらためて口にすると、かなり照れくさい言葉です。私が中学2年生だった頃、学級旗のスローガンとして用いられた言葉でした。当時、日曜日の夜七時半からNHKで、アニメ「三銃士」が放送されていました。その中で、毎回敵を倒した後に、三銃士と主人公ダルタニアンが声を合わせて、「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」と叫ぶのです。その番組では、「ふしぎの海のナディア」などが放送されており、当時の少年少女にとっては、無視することのできない、「熱い」、テレビの放映帯でした。当時の子ども達にとっては、娯楽メディアといえばテレビしかなく、みんなはこぞってテレビから情報を集めていました。テレビを見て心を熱くし、明日への勇気をもらい、そして、学校での話題を集めたものです。私は純粋に、テレビのヒーロー達の友情から、「みんなのまとめり」というものの大事さを教えられたものでした。そのスローガンのおかげもあってか、それともなくてか、10年以上経った今、同級会として集まっているのは、中学3年生の時のクラスではなく、中学2年生の時のクラスなのです（SC 濱田の中学校は当時9クラスあり、毎年クラス替えがありました）。2年生の時のクラスが良くて、3年生の時のクラスがそうでもなかったというわけではありません。2年生の時のクラスが、その後の人生を通して、団結し、一人一人が個性を出し、それでいて、まとめりのあるグループになっていたということです。SC 濱田のように30の歳を深くまたぎますと、あの頃のように、純粋に何かに熱中し、純粋にぶつかりあい、純粋に自分を発揮するのに一生懸命になるということは、残念ながら少なくなっていました。趣味でサッカーやフットサルをやっているのですが、チームのメンバーの年齢が離れているため（若い子はまだ10代!）、どうしても近い年齢同士のグループがかたまってしまい、なかなか一体感を感じられる事はありません。もう一度あの頃のように、もう一度、「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」とキラキラした目で合言葉を言ってみたくなっている今日この頃です。誰か、私と試してみませんか。



いや、別に特別寂しい日常を送っているわけではありませんので、ご心配なさらずに。

*** 3月カウンセラー出務日時（予定） ***

角館中 3日(火)09:00~11:00(菅原)
4日(水)13:00~17:00(菅原)

神代中 予定なし

生保内中 5日(木)12:45~16:45(三浦)

西明寺中 予定なし

桧木内中 予定なし

右記の先生に電話で直接申し込むか、
担任の先生等を通じての申し込みも出来ます。

角館中	TEL: 53-2411 (担当: 照井 節子先生)
神代中	TEL: 44-2110 (担当: 柴田教頭先生)
生保内中	TEL: 43-1181 (担当: 門脇教頭先生)
西明寺中	TEL: 47-2626 (担当: 布谷教頭先生)
桧木内中	TEL: 48-2330 (担当: 三浦 明美先生)
北浦教育文化研究所	43-3387 (担当: 浦山先生、三浦先生、梁田先生)